

リフレッシュ理科教室実施報告書 (2/2)

下記のとおりご報告いたします。

事業名 ：リフレッシュ理科教室　－　自宅でリフレッシュ理科教室　－	
開催日 ：2020年　6月　1日から　2020年　10月　31日まで	
開催場所 （同じ場所で複数回開催する場合は、日付も複数日ご記入ください）： 児童、生徒の自宅等	
参加者人数 （スタッフ以外の参加者を記述してください）： <u>合計 568 名 (568 セット) *1 名/セットで算出</u>	
内訳	① 児童・生徒：　　　　　　　　　568 名 (568 セット、応募件数：299 件)
	② 保護者・一般：　　　　　　　　　名
	③ 教諭等：　　　　　　　　　　　名
<p>特記事項（委員会での検討や本部への報告書作成のため、各会場の特徴や工夫していることなどについてご記入下さい。）</p> <p>例：各会場の運営や参加対象などの特徴、教員対象の講演会・講習会、教育委員会との連携、地方公共団体との協力、他の団体との協力など。また、補助金に対する要望事項、他支部でも参考になる事項、良かった点、悪かった点など</p> <p>【良かった点】</p> <p>感染症への対応が定まらず外出の自粛が続いていた期間の実施であったため、普段の生活に閉塞を感じていた児童や生徒にとって「リフレッシュ」できる良い機会となった。保護者から提供された理科工作に励む様子を表した画像や実施後のアンケートからも本企画が好意的にとらえられていることが分かった。</p> <p>例年の対面型リフレッシュ理科教室は、開催場所や日程等の理由から参加ができない事情も生じるが、自宅で実施することで居住地に関わらず同様のサービスを受けられるようになった。</p> <p>対面型、自宅（オンライン対応含む）の選択肢の設定は、集団での実施に抵抗を感じる児童、生徒にとって有益である。</p> <p>同封書類として理科工作実施中における怪我や工作キットが周辺の電子機器へ悪影響を及ぼす恐れがあることを喚起する注意書きを添え、工作中は保護者等が監督者として付き添うことを求めた。</p> <p>【課題】</p> <p>テキスト付きの工作キットの無償提供は、運営側、利用側ともに手軽に運営、利用できる利点はあるが、対面型で実施してきた原理や工作の説明がないため、理科教育の啓蒙が不足する恐れがある。本企画では、教員と利用者とのコミュニケーションと教育効果が生まれることを期待し、利用者の希望に応じて利用できるオンラインツールを用いたサポート体制を用意していたが、実際にはサポートを受けずに各自でテキストを見ながら理科工作を完成させるケースが圧倒的に多かった。教材配布型の企画の利用者の目的が、理科工作を完成させることだけにならぬよう、対面型同様にオンライン（ライブ）で教員が対応する仕組みが望ましいといえる。</p>	



実施報告書は、リフレッシュ理科教室開催後 1か月以内 に**応物事務局 岡山**まで各支部長・分科会幹事長にCCで共有の上メール添付（WORD形式）にてご提出ください(原本不要です)。